

All About the BOW series

- Best films of the World -



企画展

BOWシリーズの全貌

— 没後30年 川喜多和子が愛した映画

2023.3.18 田 → 6.25 日

企画展観覧料: 一般 200円 (140円) 小・中学生 100円 (70円) * ()内は20名以上の団体料金



鎌倉市川喜多映画記念館

企画展

パウ BOWシリーズの全貌

— 没後30年 川喜多和子が愛した映画

1980～90年代、日本では、世界各地の様々な映画を映画館の個性に合わせて上映する、ミニシアター・ブームが起こりました。その一翼を担ったのが、1968年に発足した映画配給会社、フランス映画社です。

同社は日本映画を海外に紹介する初期の活動に加えて、1976年から“傑作を世界から運ぶ”をスローガンに、古典的名作から新世代の作品まで多様な映画を紹介するBOW (Best films Of the World) シリーズを開始しました。一人の映画作家を継続的に取り上げるBOWのスタイルは、数々の映画作家たちとの深い信頼関係を築き上げ、その中心には、柴田^{はやお}駿とともにフランス映画社を牽引した川喜多和子の存在がありました。川喜多長政・か시코夫妻の長女として生まれ、幼少期から映画に親しんだ和子は、映画を通じた国際交流という両親の理念を受け継ぎ、愛する映画を見せることに限りない情熱を注ぎました。盟友・大島渚監督は、「映画をつくれば和子は見てくれる。よければほめてくれる、日本で上映してくれる。このことがどんなに作家たちをはげまし、なぐさめ、映画をつくり続ける勇気を与えたことか。」と惜しみない賛辞を送っています。1993年に急逝した和子の没後30年を迎えるこの機会に、展示・上映・トークイベントなどを通して、BOWシリーズを中心に和子が愛した映画を振り返ります。

初来日したアランドロンと(1963年)

親友・野上照代と(1986年)



ゴダール初来日時(1966年)
左からマリナ・ヴラダイ、和子、依田義賢、ジャン＝リュック・ゴダール



フランス映画社にて(1979年頃)



カンヌ国際映画祭にて(1976年) / 左から柴田駿、川喜多かほこ、大島渚、和子

1 ピアノ・レッスン

R18+

3.23(木)・26(日) 10:30 / 14:00
3.24(金)・25(土) 14:00



娘を伴い嫁いだ土地で出会った男と、自らの言葉であるピアノで心を通わせていく女性を描いた、カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞作。本作に惚れ込んだ川喜多和子は上映権獲得後に急逝。翌年に公開されて大ヒットを記録した。

1993年 / オーストラリア / カラー / 121分 / Blu-ray
監督・脚本: ジェーン・カンピオン
出演: ホリー・ハンター、ハーヴェイ・カイテル、サム・ニール、アンナ・パキン

4 冬の旅

4.25(火) 10:30
4.26(水)・28(金)・30(日) 14:00



放浪の果てにフランスの片田舎で死んだ18歳の少女・モナの最後の日々を描くヴェネチア国際映画祭金獅子賞受賞作。原題《Sans toit ni loi》(屋根もなく法もなく)のように、既成の価値観に縛られない自由を求めた女性の姿が浮かび上がる。

1985年 / フランス / カラー / 105分 / DCP
監督・脚本: アニエス・ヴァルダ
出演: サンドリーヌ・ボネール、マーシャ・メリル、ステファン・フレイス、ヨランド・モロー

8 ミツバチのささやき

5.30(火) 10:30
5.31(水)・6.2(金)・4(日) 14:00



1940年頃、スペインの小さな村を舞台に、『フランケンシュタイン』に魅せられた少女・アナの現実と空想が交錯した体験を描いたエリセの長編第1作。主人公の名演技が目玉され日本公開時に大ヒットを記録した。

1973年 / スペイン / カラー / 99分 / DCP
監督・脚本: ビクトル・エリセ
脚本: アンヘル・フェルナンデス＝サントス
出演: アナトレント、イザベル・ゴメス、ケティ・デ・ラ・カマラ
フェルナンド・フェルナン・ゴメス、ケティ・デ・ラ・カマラ

2 家族の肖像

PG12

4.11(火) 10:30
4.12(水)・14(金)・16(日) 14:00



ローマの豪邸で孤独な晩年を送る老教授が、階上に住みついたある家族によって生活を乱されていく様を描いたヴィスコンティ晩年の代表作。監督自身を投影したと言われ、日本で“ヴィスコンティ・ブーム”を生み出した。

1974年 / イタリア＝フランス / カラー / 121分 / DCP
監督・脚本: ルキノ・ヴィスコンティ 脚本: スズー・チェッキ・ダミコ、エンリコ・メデオリ
出演: パート・ランカスター、ヘルムート・バーガー、シルヴァーナ・マンガノ、ドミニク・サンダ

5 ナイト・オン・ザ・プラネット

4.30(日) 10:30
4.25(火)・27(木)・29(土・祝) 14:00



LA、NY、パリ、ローマ、ヘルシンキの5都市、同時刻のタクシーの車内を舞台に、運転手と客の巡り合いをオムニバス形式で描く。デビュー作からBOWシリーズの常連だったジャームッシュのオフビートな感性が光る一作。

1991年 / アメリカ / カラー / 129分 / DCP
監督・脚本: ジム・ジャームッシュ
出演: ウィノナ・ライダー、ジーナ・ローランズ、ベアトリス・ダル、ロベルト・ベニーニ

9 東京画(2Kレストア版)

6.4(日) 10:30 6.3(土) 特別上映 13:30
5.30(火)・6.1(木) 14:00



敬愛する小津安二郎監督が描いた東京を求めて、ヴェンダースが1980年代の東京を彷徨いながら「イメージ」で綴った旅日記。川喜多郎別邸で行われた笠智衆のインタビューをはじめ、撮影には川喜多和子も同行しサポートした。

1985年 / 西ドイツ＝アメリカ / カラー / 92分 / DCP
監督・脚本: ナレーション・ウィム・ヴェンダース
出演: 笠智衆、厚田雄春、ヴェルナー・ヘルツォーク、クリス・マルケル

特別上映

4/15(土) 『ピクニック』『ラ・ジュテ』上映
14:00 +トークイベント

川喜多和子は、映画の自由、自由の映画を 求める者たちのジャンヌ・ダルクだった

ゲスト:高崎俊夫さん(編集者/映画評論家)

このトークタイトルは、大島渚監督が川喜多和子の葬儀で述べた弔辞の一節です。大島は、映画を作る者、見る者、映画について書く者、誰もが彼女に支えられていたと、その生涯を称えました。トークイベントでは、雑誌や書籍の編集者として同時代を併走してきた高崎俊夫さんに、BOWシリーズとその時代を振り返っていただきます。

料金:一般1,600円、小・中学生800円/チケット発売日:3月11日(土)

6/3(土) 『東京画』上映+トークイベント
13:30

フランス映画社での仕事、 川喜多和子という人

ゲスト:森遊机さん(映画研究家/書籍編集者)
齋藤敦子さん(映画評論家)

1980年代半ば以降、BOWシリーズではビクトル・エリセ、ジム・ジャームッシュ、ヴィム・ヴェンダース、侯孝賢といった新しい世代の映画作家たちを継続的に日本に紹介し、彼らとの信頼関係を築いていきました。トークイベントでは、この時期にフランス映画社に在籍し、現在も映画界の第一線で活躍されているお二人に、同社での仕事や川喜多和子の素顔についてお話しいただきます。

料金:一般1,600円、小・中学生800円/チケット発売日:4月8日(土)

上映解説(映像資料室)

3.23(木)『ピアノ・レッスン』

4.27(木)『ナイト・オン・ザ・プラネット』

5.31(水)『ミツバチのささやき』

6.13(火)『夢みるように眠りたい』

各日午後の上映終了後(約40分)

ギャラリートーク(展示室)

4.22(土)、5.27(土)、6.24(土)

各日14:00~(約40分)

上映作品や展示の見どころを、学芸員が解説します。(要企画展観覧料)

ギャラリートーク後に、旧和辻邸見学ツアー(希望者のみ)を行います。(約10分)

企画展観覧 一般 200(140)円 小・中学生 100(70)円

* ()内は20名以上の団体料金

*鎌倉市民(市内に住所を有する方)は展示観覧料が無料です。

入館の際に住所が確認できる証明書(運転免許証、国民健康保険証等)をご提示ください。

映画鑑賞

展示観覧料含む

一般 1,000円 小・中学生 500円

特別上映

展示観覧料含む

一般 1,600円 小・中学生 800円

チケット発売 開始日

3月の上映作品 **1** 3月1日(水)

4月の上映作品 **2~5** 3月11日(土)

5月の上映作品 **6~9** 4月8日(土)

6月の上映作品 **10~11** 5月13日(土)

*作品により映像・音声必ずしも良好ではないものがあります。

場合によっては上映素材・作品の変更があることをご了承ください。

展示協力(敬称略):小笠原正勝、川合知代、国立映画アーカイブ、高崎俊夫、橋倉正信、森遊机/デザイン:フルタヨスケ(A.N.P.)

3 ピクニック/ラ・ジュテ [二本立て]

4.16(日) 10:30 4.11(火)・13(木) 14:00 15(土) **特別上映** 14:00
ピクニック ラ・ジュテ



モーパッサンの小説をもとに、結婚を控えた娘の幸せなピクニックの一日を、画家である父ルノワールのようにみずみずしく描く。ルノワール作品は初期のBOWシリーズで集中的に紹介され、監督の再評価に繋がった。

1936年/フランス/白黒/40分/DCP
監督・脚本:ジャン・ルノワール
出演:シルヴィア・バタイユ、ジャン・マルカン、
アンドレ・ガブリエロ、ジョルジュ・サン＝サーンス



第三次世界大戦後の廃墟と化したパリ。幼少期に目にした光景に囚われた男の時間旅行を、ストップ・モーションとナレーションで構成した実験的短篇で、川喜多和子がシネクラブ研究会時代に盛んに上映していた一作。

1962年/フランス/白黒/29分/35mm
監督・脚本:クリス・マルケル 朗読:ジャン・ネグロニ
出演:エレヌ・シャトラン、ダヴォス・ハニヒ、
ジャック・ルドワー、アンドレ・アンリシュ

6 木靴の樹 ※途中休憩あり

5.16(火) 10:00
5.17(水)・19(金)・21(日) 13:30



19世紀末、北イタリアの農園に生きる貧しい小作人の四家族を描いた感動作。自然光を用い、実際の農民を起用するなどの自然主義的な演出で、季節の移り変わりを見事に表現し、カンヌ国際映画祭パルム・ドールを受賞した。

1978年/イタリア/カラー/187分/DCP
監督・脚本:エルマンノ・オルミ
出演:レイジ・オルナーギ、フランチェスカ・モリッツ、
オマル・プリニョリ、テレザ・プレジヤニーニ

10 火まつり *英語字幕付き上映

6.13(火)・18(日) 10:30
6.14(水)・16(金) 14:00



実在の殺害事件に着着想を得て、中上健次が脚本を書きおろした一作。熊野の自然と人間、土着的な神話世界の融合を題材に、次第に狂気をはらんでいく木こりの姿を描く。川喜多和子は本作をはじめ日本映画の海外への紹介にも尽力した。

1985年/日本/カラー/125分/35mm
監督:柳町光男 脚本:中上健次
出演:北大路欣也、大地春和子、宮下順子、中本良太、
三木のり平

7 ブリキの太鼓《劇場公開版》

5.21(日) 10:30
5.16(火)・18(木)・20(土) 14:00



“自らの意志で3歳の誕生日に成長を止めた”主人公の視点から社会の欺瞞を暴き出す、ノーベル賞作家ギュンター・グラスの小説の映画化で、《ニュー・ジャーマン・シネマ》の金字塔とされる。カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞。

1979年/西ドイツ=フランス/カラー/142分/Blu-ray
監督・脚本:フォルカー・シュレンドルフ
脚本:ジャン＝クロード・カリエール、フランツ・ザイツ
出演:ダーヴィット・ベネット、マリオ・アドルフ、
アンゲラ・ヴィンクラー、ダニエル・オルプリフスキー

11 夢みるように眠りたい *英語字幕付き上映

6.17(土) 10:30
6.13(火)・15(木)・18(日) 14:00



モノクロ、サイレントの手法を大胆に用い、昭和30年代の浅草を舞台に、未完に終わった無声映画をめぐる謎に挑む私立探偵の冒険を描いた意欲作。川喜多和子が英語字幕の制作に携わり、海外の映画祭で高く評価された。

1986年/日本/白黒/84分/Blu-ray
監督・脚本:林海象
出演:佐野史郎、大竹浩二、住村萌、深水藤子、大泉滉、
あがた森魚、松田春恵、吉田義夫

上映スケジュール

3月	次世代シネマセレクション チケット発売日:3月1日(水)	21 火・祝	10:30 こちらあみ子(104分)	14:00 こちらあみ子(104分)+アフタートーク
	関連上映 BOWシリーズの全貌 チケット発売日:3月1日(水)	22 水	10:30 こちらあみ子(104分)	14:00 こちらあみ子(104分)
		23 木	10:30 ピアノ・レッスン(121分)	14:00 ピアノ・レッスン(121分)+上映解説
		24 金		14:00 ピアノ・レッスン(121分)
		25 土		14:00 ピアノ・レッスン(121分)
26 日		10:30 ピアノ・レッスン(121分)	14:00 ピアノ・レッスン(121分)	
4月	関連上映 BOWシリーズの全貌 チケット発売日:3月11日(土)	11 火	10:30 家族の肖像(121分)	14:00 ピクニック(40分)/ラ・ジュテ(29分)
		12 水		14:00 家族の肖像(121分)
		13 木		14:00 ピクニック(40分)/ラ・ジュテ(29分)
		14 金		14:00 家族の肖像(121分)
		15 土		14:00 特別上映 ピクニック(40分)/ラ・ジュテ(29分)+トークイベント
		16 日	10:30 ピクニック(40分)/ラ・ジュテ(29分)	14:00 家族の肖像(121分)
		25 火	10:30 冬の旅(105分)	14:00 ナイト・オン・ザ・ブラネット(129分)
		26 水		14:00 冬の旅(105分)
		27 木		14:00 ナイト・オン・ザ・ブラネット(129分)+上映解説
		28 金		14:00 冬の旅(105分)
5月	シネマウィーク チケット発売日:4月8日(土) 一般:1200円/小・中学生:600円	1 月	10:30 荒野に希望の灯をともし(90分)	14:00 瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと(95分)
		2 火	10:30 瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと(95分)	14:00 ケイコ 目を澄ませて(99分)
		3 水・祝	10:30 荒野に希望の灯をともし(90分)	14:00 ケイコ 目を澄ませて(99分)
		4 木・祝	10:30 瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと(95分)	14:00 荒野に希望の灯をともし(90分)
		5 金・祝	10:30 ケイコ 目を澄ませて(99分)	14:00 瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと(95分)
		6 土	10:30 荒野に希望の灯をともし(90分)	14:00 瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと(95分)
		7 日	10:30 荒野に希望の灯をともし(90分)	14:00 ケイコ 目を澄ませて(99分)
		関連上映 BOWシリーズの全貌 チケット発売日:4月8日(土)	16 火	10:00 木靴の樹(187分)
17 水			13:30 木靴の樹(187分)	
18 木			14:00 プリキの太鼓(142分)	
19 金			13:30 木靴の樹(187分)	
20 土			14:00 プリキの太鼓(142分)	
関連上映 BOWシリーズの全貌 チケット発売日:4月8日(土)	30 火	10:30 ミツバチのささやき(99分)	14:00 東京画(92分)	
	31 水		14:00 ミツバチのささやき(99分)+上映解説	
	1 木		14:00 東京画(92分)	
関連上映 BOWシリーズの全貌 チケット発売日:4月8日(土)	2 金		14:00 ミツバチのささやき(99分)	
	3 土		13:30 特別上映 東京画(92分)+トークイベント	
	4 日	10:30 東京画(92分)	14:00 ミツバチのささやき(99分)	
	6月	シネマウィーク チケット発売日:5月13日(土) 一般:1200円/小・中学生:600円	6 火	10:30 戦争と女の顔(137分)
7 水			10:30 カモン カモン(108分)	14:00 戦争と女の顔(137分)
8 木			10:30 ミセス・ハリス、バリへ行く(116分)	14:00 カモン カモン(108分)
9 金			10:30 戦争と女の顔(137分)	14:00 ミセス・ハリス、バリへ行く(116分)
10 土			10:30 ミセス・ハリス、バリへ行く(116分)	14:00 カモン カモン(108分)
11 日			10:30 カモン カモン(108分)	14:00 戦争と女の顔(137分)
関連上映 BOWシリーズの全貌 チケット発売日:5月13日(土)	13 火	10:30 火まつり(125分)	14:00 夢みるように眠りたい(84分)+上映解説	
	14 水		14:00 火まつり(125分)	
	15 木		14:00 夢みるように眠りたい(84分)	
	16 金		14:00 火まつり(125分)	
	17 土	10:30 夢みるように眠りたい(84分)	14:00 出張活弁上映 (ハロー!キートン)@鎌倉児童ホーム	
18 日	10:30 火まつり(125分)	14:00 夢みるように眠りたい(84分)		



旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧いただけます。(各日10:00~16:00)
一般公開(無料):4.8(土)、9(日)
特別公開(要入館料):5.3(水・祝)~7(日)

★いずれの公開も天候、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となる場合があります。

2023年度友の会 会員募集中 年会費:2500円

- ★映画チケットの電話予約が可能
- ★1000円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント
- ★展覧会観覧料がいつでも無料
- ★展覧会やイベントのチラシをご自宅に郵送
- ★会員向けの上映会やイベントを開催

記念館窓口、郵便振替でお申込みを受け付けています。詳しくはお問合せください。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館: 月曜日(5月1日は開館)

- 鎌倉駅より徒歩8分
- 駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催: 川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合せください。



<https://kamakura-kawakita.org>